

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)オーケー高井田店 新築工事	階数	地上5F、地下1階
建設地	大阪府東大阪市高井田本通	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、防火地域	平均居住人員	300 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,650 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、物販店、工場、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年11月 予定	評価の実施日	2023年08月19日
敷地面積	3,626 m ²	作成者	松本 宜之
建築面積	2,958 m ²	確認日	2023年08月24日
延床面積	12,570 m ²	確認者	田中 銀一



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算 ★★★★★

30% ★★★★★ 60% ★★★★★ 80% ★★★★★ 100% ☆☆ 100%超: ☆

標準計算

①参照値	184	100%
②建築物の取組み	138	76%
③上記+②以外の	46	76%
④上記+	92	76%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.4

音環境	3.0
温熱環境	1.3
光・視環境	2.9
空気質環境	3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

機能性	2.8
耐用性	2.9
対応性	3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.1
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

水資源	2.2
非再生材料の	3.3
汚染物質	3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

地球温暖化	3.9
地域環境	3.5
周辺環境	2.7

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。 主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。 ライフサイクルCO ₂ 排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。		特になし。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
事務所:照度が500lx以上1000lx未満。 売場の天井高3.3m以上。 事務室の天井高2.7m以上。	給水VLP(B)、給湯SUS(C)、排水VP(B)、Eは不使用。 0.1≦(壁長さ比率) < 0.3	特になし。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
BPI _m =0.74。 [BEI][BEI _m] = 0.71	床:長尺塩ビシート、断熱材 LGS使用している。 ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	ライフサイクルCO ₂ 排出率76%。 燃焼機器を使用していない。 適切な台数の自転車置場(バイク置場含む)及び駐車場に加えて、荷捌き車両の駐車施設も確保している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R5-0060

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)オーケー高井田店 新築工事						
	建設地	大阪府東大阪市高井田本通						
	用途/区分	工場 物販店 事務所						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B+	
①	CO2削減						4	
②	みどり・ヒート アイランド対策						3	
③	建物の断熱性						5	
④	エネルギー削減						4	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告						報告しない	
【評価項目】								
	項目	評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.9	4	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	3	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価				3.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価				3.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				5.0	5	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				4.1	4	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項	ライフサイクルCO2排出率76%。 BPIm=0.74。 [BEI][BEIm] = 0.71。						